

横浜市小学校社会科研究会

高学年部会

研修会記録

第 3 号

令和2年 11月 4日
横浜市小学校教育研究会
会長 相澤 昭宏
横浜市小学校社会科研究会
会長 梅田 比奈子

【提案日】

10月 7日 (水)

【会 場】

横浜市立丸山台小学校

提案 田村 拓之 先生 (稲荷台小)

提案 杉山 ももこ先生 (稲荷台小)

司会 池田 翼 先生 (鉄小)

記録 蓮實 聡太 先生 (岡津小)

「全小社神奈川大会、会場校に学ぶ」 (稲荷台小学校)

5年 杉山先生 単元：情報「セブンイレブン」

子どもたちのセブンイレブンのイメージは、常にものがあり、便利なところであった。しかし、このイメージのままでは情報学習に繋がらないので、単元の導入で昔のレジと今のレジを比較させた。昔のレジは、金額を入力するだけであった。一方、今のレジは、金額の他にもお客さんの情報を入力する。それにより、単元を見通す学習問題を設定した。

単元を見通す学習問題のキーワード

『便利と情報は関わっている』

本気の学習問題

システムを理解した上で『どうしてセブンイレブンの商品は、無くならない、あまらないのか』

単元の終末では、情報が私たちの生活に関わっていることに気付かせたい。

6年 田村先生 単元：歴史「江戸幕府の政策」

単元を見通す学習問題

『関ヶ原の戦いの時には武士は、バラバラだったのに、どうして一番長く続いたのか』

この単元を見通す学習問題に対して、子どもたちは外国に目を向けてキリスト教の禁止が関係していると予想を立てた。

現在 (10月7日) は、国内の政策である参勤交代や武家諸法度などの学習を進めている。

本気の学習問題のキーワード

『どうして、260年も続いたのか』

〈参会者からの質問〉

5年 杉山先生に対して

- セブンイレブンを扱うということだが、ある一店舗を扱うのか全店舗を扱うのか。
- ・セブンイレブンは全店舗同じことをしている。商品が1こ2こはあるというギリギリを保つために情報を活用している。
- 商品が余った、うまく仕入れることができたというギリギリを保つための資料づくりは難しそうであるがどんな資料を用意しているのか。
- ・資料としては発注するときのパソコン画面を用意している。この画面には、去年と今年の気温やどれだけ売れたかという情報がある。

6年 田村先生に対して

- キーとなる資料は、どんな資料を用意しているか。
- ・導入が大切だと考えているので、子どもたちが「なんでこんなに厳しいの？」と思う資料を用意している。単元の終末では、この厳しさについてどう思うということを考えさせたい。また、ふり返りのチャートも活用していく。

文責 板山 涼 (中尾小学校)